



2017年度入社式 社長説示

2017年4月3日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、本日、以下の通り入社式を執り行いました。

社長の金杉恭三による挨拶の要旨は別紙を参照願います。

【開催日時】 2017年4月3日（月） 午前11：10から

【会 場】 あいおいニッセイ同和損害保険 新宿ビル（東京都渋谷区）

【採用数】 557名

※昨年実績 459名

以上

■2017 年度入社式 社長説示骨子

1. あいさつ

- ・当社の未来を担う 557 名の新入社員を入社式で迎えることができ、嬉しく思っている。
- ・「日々の生活に安心・安全を提供する」という損保の社会的使命を胸に刻み、一人ひとりが社会のために当社で何ができるのかを真剣に考えてもらいたい。
- ・お伝えしたいことは「当社のチャレンジ」「目指す企業像と社員としての心構え」「新入社員への期待」。

2. 「当社のチャレンジ」

- ・会社の大きな方向性としては、「特色ある個性豊かな会社」にしていきたい。
- ・当社は MS&AD インシュアランスグループの中核損保として、存在感を示していかなければならない。
- ・また目まぐるしく環境が変化する中、時代の先を読み、新たなチャレンジをしていくことで将来の収益源をより確かなものにしていく必要がある。
- ・そのためには、当社として取り組む独自性・先進性を高めるチャレンジが重要となる。
- ・独自性へのチャレンジとしては地方創生プロジェクト。地域密着の具現化のためにも、地方創生の枠組みの中で、当社ネットワーク・ノウハウを活用し、地方の活性化に貢献し、ビジネスチャンスを拡大していく。
- ・グローバルにはトヨタのコネクティッド戦略を基点に今後より一層の事業の拡大を図っていく。
- ・先進性へのチャレンジとしては、テレマティクス事業プロジェクト・ICT プロジェクトの推進。2015 年に買収した BIG 社のテレマティクス技術を基盤に、日本初の運転挙動反映型自動車保険の発売をする。
- ・自動運転社会の到来へ向けては群馬大学と、ビッグデータの高度解析の面では滋賀大学と産学連携の協定を締結。IoTやAIの活用等と併せて、社会の変化と将来を見据えたチャレンジに全社を挙げて取り組む。
- ・今年度からは新たに「ニューリスクプロジェクト」を立ち上げ、今後様々な分野で顕在化が予想されるニューリスクに対応しうる商品・サービスの開発や新たなビジネスモデルの構築にもチャレンジしていきたい。
- ・更に「24 時間 365 日事故対応サービス」をはじめとした事故処理体制強化による当社ファンの拡大。
- ・加えて、重要なビジネスパートナーである日本生命との連携も一層強化していく。
- ・「働き方改革」は最重要テーマ。「風土革新プロジェクト」はやりがいと誇りを持って働くための土台。

3. 「目指す企業像と社員としての心構え」

- ・「他社とは異なる、特色ある個性豊かな会社」へ向け、目指す企業像は「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする会社」。
- ・そのための約束事として、「迅速」「優しい」「頼れる」をキーワードとした「全力サポート宣言」を 2016 年度から企業メッセージとして掲げた。その 3 つのキーワードを当社社員としての心構えとしてもらいたい。
- ・「迅速」とは、スピード感を持って、決断・行動するということ。「優しい」とは、相手の立場に立って想いを汲み取るということ。「頼れる」とは、経験に裏打ちされた真のプロフェッショナルとなること。
- ・会社のチャレンジを実現するためには、新しいこと、難しいことにチャレンジする社員が必要であり、チャレンジする社員を会社は全力でサポートするので、失敗を恐れず積極的にチャレンジしてもらいたい。

4. 「新入社員への期待」

- ・まずは自身の「光る個性」を伸ばして「明るく元気に」生き活きと働いてもらいたい。
- ・「お客さまを全力でサポートする会社」の一員として、「全力サポート宣言」の 3 つのキーワードをしっかりと実践してもらいたい。

2017 年度入社式 社長説示

2017 年 4 月 3 日

代表取締役社長 金杉 恭三

<あいさつ>

皆さん、ご入社おめでとうございます。

当社の未来を担う 557 名の新しい仲間を迎えることができ、本当に嬉しく思っています。

今日、ここに集まった皆さんは、就職活動を通じて、当社や損保業界についてしっかり研究し、その社会的使命についても、理解・共感してくれていることと思います。

昨年は、4 月に熊本の地震、8、9 月にはいくつもの台風の上陸、更に鳥取県中部地震、また年末には糸魚川の大火等、大変多くの災害が発生し、損害保険業界の存在意義が問われる 1 年でした。

当社は、こうした災害に対して、全社員一丸となって事故処理や保険金の支払いに迅速に取り組み、結果として業界をリードし、その社会的使命を果たして参りました。このことは、私たちの誇りであり、自信となっています。

今日から始まる研修では、損害保険の役割や当社の戦略など、より具体的な事を皆さんにお伝えします。「日々の生活に安心・安全を提供する」という損保事業の社会的使命を、皆さん一人ひとりがしっかりと胸に刻み、当社で何ができるのかを、真剣に考えていただきたいと思ひます。

それでは、今日から仲間となる皆さんにお伝えしたいこととして、「当社のチャレンジ」、「目指す企業像と当社社員としての心構え」そして「皆さんへの期待」の 3 点をお話しします。

<当社のチャレンジ>

まず、「当社のチャレンジ」についてお話しします。

私は、会社の大きな方向性として、「他社とは異なる、特色ある個性豊かな会社」にしていきたいと思ひています。

社長に就任して、ちょうど 1 年経ちました。この間、全国のお客さま、代理店・扱者の皆さま、当社社員と対話を重ね、ひとつの確信を持つことができました。それは、独自性と先進性を持ち続け、他社とは違う特色ある個性豊かな会社になることで、必ず未来を築くことができるということです。

当社は、世界トップ水準の保険・金融グループを目指す MS&AD インシュアランスグループの中核損保として、存在感ある貢献を果たしていかなければなりません。

世の中に目を向けると、少子高齢化の一層の進展、AI 技術の進化、働き方改革や長時間労働対策への関心の高まり等、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。今後どのようなことが起こるのか、時代の先を読み、新たなチャレンジをしていく中で、将来の収益源をより確かなものとしていく必要があります。

そこで重要となってくるのが、あいおいニッセイ同和として取り組む、独自性と先進性を高めていくチャレンジです。昨年からの 3 つのプロジェクトを中心に進めています。今年度も全社的な取り組みとして更に強化・推進していきますので、このことについて少しお話ししたいと思います。

独自性へのチャレンジは「地方創生プロジェクト」です。今後も、本プロジェクトを地域経営の柱と位置付け、当社の強みであるリテール営業の更なる強化へ向け、取り組んでいきます。具体的には、地方公共団体・地域金融機関等とのネットワーク拡大、高齢者・外国人をはじめとした新たなマーケットに適合した施策の推進など、政府の政策にもしっかりとキャッチアップし、こだわり続けてきた

「地域密着」をビジネスモデルの一つの形として進展させていきます。

先進性へのチャレンジは「テレマティクス事業プロジェクト」「ICTプロジェクト」の2つのプロジェクトを中心として進めていきます。

「テレマティクス事業プロジェクト」においては、イギリスのBIG社買収によって手にしたテレマティクスの高度な技術・ノウハウを基盤に、商品・サービスの開発を加速させていきます。3月14日にプレス発表をした通り、当社は日本初の運転挙動反映型自動車保険の発売へ乗り出します。最先端の技術を駆使して安心・安全なクルマ社会の実現に貢献していきます。更には、自動運転社会の到来へ向け群馬大学と、ビッグデータの高度解析の面で滋賀大学と産学連携し、マーケットに付加価値を提供し続けていきます。グローバルにはトヨタのCONNECTED戦略を基点に今後より一層の事業の拡大を図っていきます。

「ICTプロジェクト」においては、テレマティクス技術のIoT領域への活用拡大、マルチデバイス・AIを活用した業務の革新、本格的なWebマーケティングの展開、FinTechへの対応など、世の中の変化を積極的に捉え、先んじることで、将来に向けた強みを構築していきます。

そして、今年度から新たに「ニューリスクプロジェクト」を立ち上げ、今後様々な分野で顕在化が予想されるニューリスクに対応しうる商品・サービスの開発や新たなビジネスモデルの構築にもチャレンジしていきたいと考えています。

これらの領域はいずれも、環境や情勢の変化が早く、各社の動きも活発化しています。社員一人ひとりが日頃からお客さまニーズ、マーケット動向など最新情報への感度を鋭くしておくことが大切ですので、皆さんもこうした動きへの感度を高めていただきたいと思います。

また、これらプロジェクト領域に加え、既に持つ強みを更に強化していくことも重要です。

ひとつが「損害サービス」です。まず、昨年度より本格的な提供を開始した「24時間365日事故対応サービス」は紛れもなく業界随一と言えます。こうした当社の「損害サービス」を絶え間なく高度化し、しっかりとアピールしていくことで、当社のファンの拡大につなげたいと思います。

加えて、重要なビジネスパートナーであり、ダイナミックな戦略を展開している日本生命との連携も更に強化していきます。両社の強固なパートナーシップをベースにお客さまの信頼を獲得し、「当社の強み」を更に伸ばしていきます。

言うまでもなく、こうした取り組みの土台として、社員一人ひとりが「やりがい」と「誇り」を持って働くことが重要となります。そのために、今年度は「働き方改革」を最重点のテーマとして、ワークライフバランスと人財育成・能力発揮を全力でサポートしていきます。とりわけ、積極的に推進してきた女性活躍は、制度面の改善を含め新たなステージを目指します。この「働き方改革」は「定められたルールのもと、主体性を持ちながらしっかりと成果を出していく企業風土の醸成」と併せて「風土革新プロジェクト」と位置付けており、これまでご紹介したプロジェクトの下支えとなる重要な取り組みです。

また、グローバル人財として意欲ある社員には、海外経験や語学力に関係なく、チャレンジし活躍できる場を積極的に提供していきます。

一人ひとりが「やりがい」と「誇り」を実感できれば、自ずと業績が向上し、持続的な成長につながる好循環が生み出されることは間違いない、と確信しています。

<目指す企業像と社員としての心構え>

次に、目指す企業像と社員としての心構えについてお話ししたいと思います。

先ほどから申し上げている「他社と異なる、特色ある個性豊かな会社」とはどんな会社でしょうか。それは、「特色ある個性豊かな社員が明るく元気に外に向かって活躍する」、そんな会社だと思います。そのため、私は、当社の目指す企業像を「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする会社」として決めました。

また、そのための約束事として、「迅速」「優しい」「頼れる」をキーワードとした「全力サポート宣言」を企業メッセージとして掲げました。この3つのキーワードを簡単に説明しますので、当社社員の心構えとしてしっかり覚えて下さい。

まず、「迅速」とは、スピード感をもって決断・行動することです。「優しい」とは、相手の立場に立って、想いを汲み取ることです。「頼れる」とは、経験に裏打ちされた真のプロフェッショナルになることです。そして「頼れる」存在になるためには、社員一人ひとりが新しい課題・難しい仕事に”チャレンジ”することが不可欠です。

会社は、新しいこと・難しいことに果敢にチャレンジする社員を必要としていますし、そうした社員を全力でサポートしていきます。

その結果、「あいおいニッセイ同和はチャレンジする元気な会社だ」と、お客さまからも評価してもらえる、そのような会社にしていきたいと思っています。

<新入社員への期待>

それでは最後に、新入社員である「皆さんへの期待」をお伝えします。

先ほどお伝えしたように、当社は「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする会社」を目指しています。そのために、新入社員の皆さんに期待することは、皆さんが持っている「光る個性」を伸ばし、まずは「明るく元気に」働いてもらいたいということです。

採用の時にお伝えしていた、当社の求める人財像は「多種多様な光る個性」でした。ここには557の光る個性が集まっています。皆さんが、その個性を伸ばし活躍することで、皆さん自身が「明るく元気に」生き活きと働くことが出来るはずです。初めは、分からないことや戸惑うことも多いと思いますが、「明るく元気に」、そして、「お客さまを全力でサポートする会社」の一員として、「迅速・優しい・頼れる」をしっかり実践し、仕事の醍醐味・達成感を感じながら、成長することを期待しています。

「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする会社」を実現するために、私も先頭に立って取り組みます。是非、失敗を恐れず、またたとえ失敗してもめげずに、何度でもチャレンジし、持てる力を最大限発揮してください。その活躍のステージが当社にはたくさんあります。皆さんには、本当に期待しています。共に頑張りましょう。

以上